

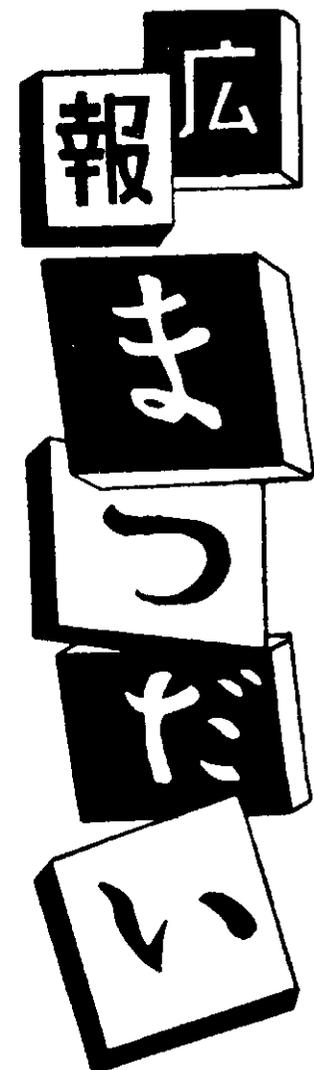
# 松代町書初展覧会特選

展覧会総出品点数

小学校児童の部 145点

中学校生徒の部 67点

一般の部 (141名) 148点



小学校第一学年

本柳

北山小学校

聡

小学校第二学年

西 潟 寿 弘

室野小学校

小学校第三学年

鈴 木 祐 嗣

松代小学校

小学校第四学年

小 塚 聡 子

蒲生小学校

小学校第五学年

柳 直 行

松代小学校

小学校第六学年

佐 藤 睦 子

室野小学校

中学校第一学年

樋 口 良 夫

松代中学校

中学校第二学年

斉 木 徳 世

奴奈川中学校

中学校第三学年

柳 一 也

松代中学校

昭和52年2月10日発行

第207号

新潟県松代町公民館

電話松代 7-2301番

印刷・松代印刷所

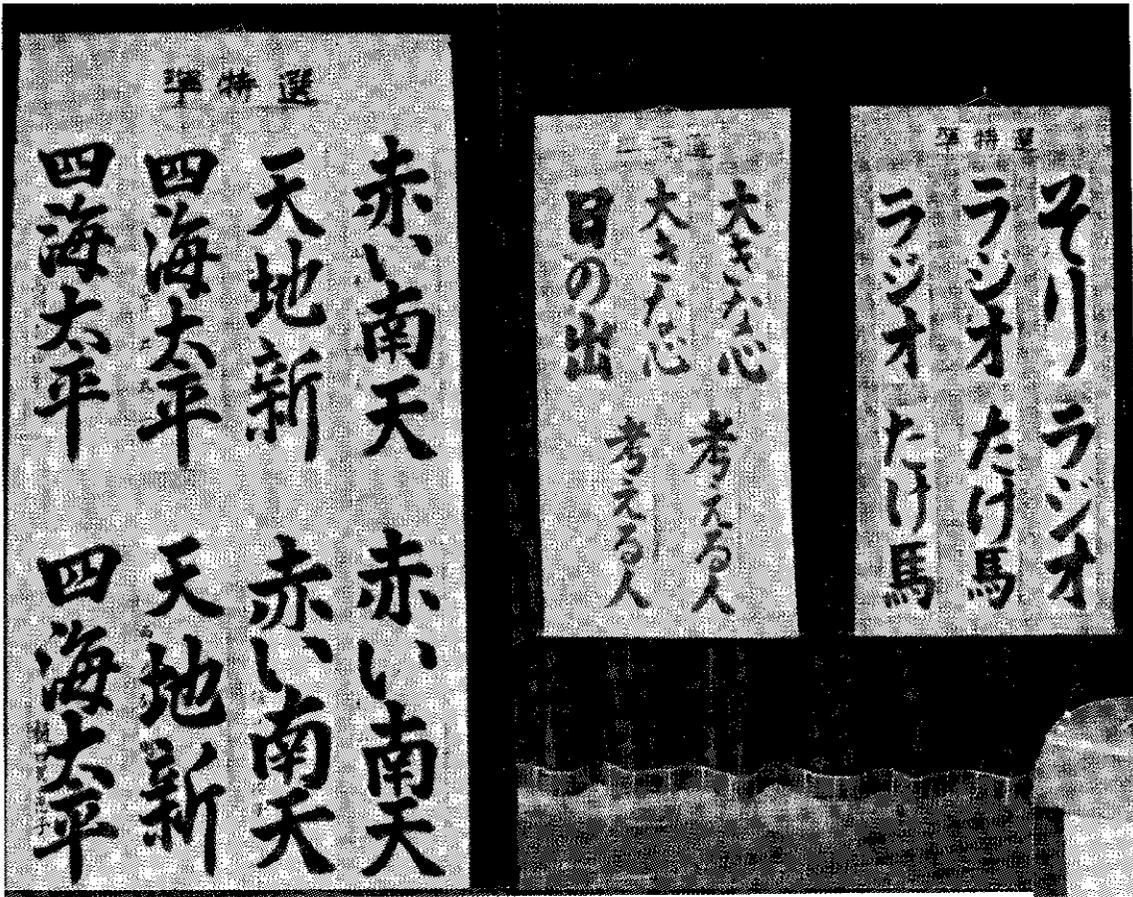
みんな秀作： 小・中学校作品  
審査に一苦勞  
ご出品ありがとうございます

昭和五十二年書初展覧会盛大に終る

一般者の皆様と各学校のご協力を得て、町教育振興会と公民館が主催し開催した書初展覧会は、一月十八日、十九日の二日間にわたり盛大に終了致しました。

ご出品・設営にご協力くださいました方々に厚くお礼申し上げます。

なお、小学校・中学校の部特選は前頁のとおりで、特選・準特選を表彰するほか、出品作に対し奨励賞を授与いたしました。また一般の出品者に対しても参加賞を差しあげました。準特選は次のとおりです。



準特選作品

小学校

一学年 高橋 英学 蓬平分

二学年 山岸 秀一 蒲生小

〃 〃 小界 仁史 〃

〃 〃 高橋 剛 蓬平分

三学年 柳 晴子 室野小

〃 〃 小山 淳子 松代小

四学年 柳 泉 〃

五学年 齊木 保子 室野小

〃 〃 池田 靖子 松代小

六学年 鈴木 智子 〃

〃 〃 村山まり子 室野小

中学校

一学年 山本千恵子 孟地中

〃 〃 樋口 俊子 松代中

〃 〃 村山 悦子 奴奈川中

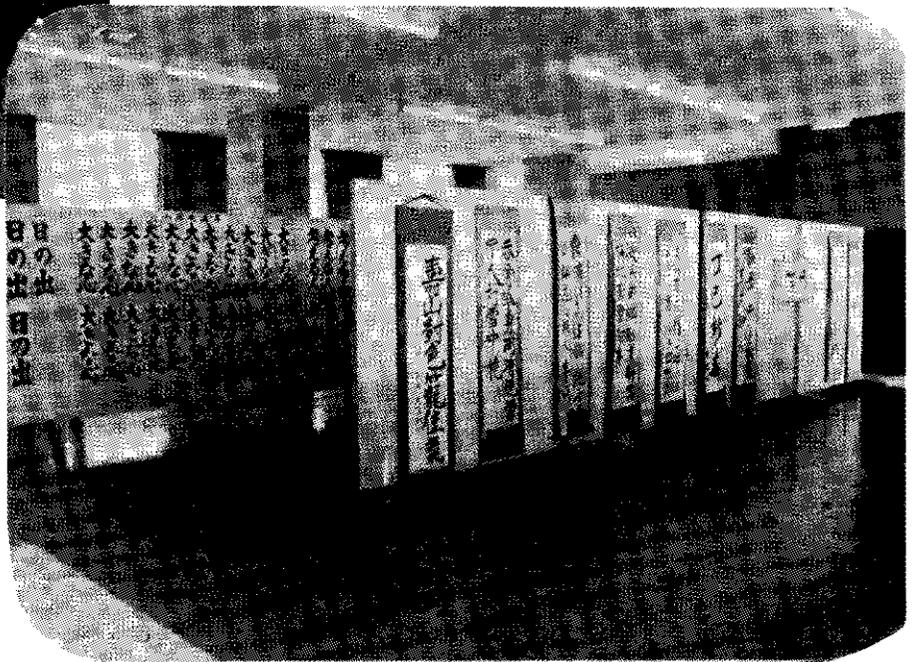
二学年 中村美津子 清水中

〃 〃 西潟 弘明 奴奈川中

三学年 高橋さゆり 松代中

〃 〃 菅井 太一 山平中

〃 〃 樋口美恵子 松代中



# 国民年金

## あなたはいくら受けられるか

### 年金額の計算方法

国民年金の年金額の計算方法は次のようにして計算します。あなたは六十才まで保険料を納めていくら受けられるでしょう。計算してみてください。

1300円×納付年数×480円

すなわち、保険料を納めた月数に一三〇〇円をかけたのが年金額になります。例えば二十才から五十九才までの四十年間保険料を納めた場合は月数にすると四八〇月になりますからそれに一三〇〇円をかけると(1300円×480=624000円)すなわち六十二万四千円になります。これがその人の年金額です。一ヶ月五万二千円になります。国民年金の場合は、夫婦して加入している場合が多い

わけですから、夫婦ですと一ヶ月十万四千円ということになります。なおこの金額は、物価スライド制と言って物価が上昇した場合、その物価の上昇に見合うように年金額も増額になります。

### 付加年金の計算方法

付加保険料というのは「もう少し多く保険料を納めてもよいからより高い年金を受けたい」という加入者の強い要望に応じて設けられたもので、この制度に加入しますと、定額保険料のほかに一か月四〇〇円を足しまえして納めることになります。そして、納めた期間に応じて定額年金に加算した年金が受けられます。その計算方法は次のとおりです。

200円×付加年数×96000円

すなわち、付加保険料を納めた月数に二〇〇円をかけたのが年金額になります。例えば二十才から五十九才まで付加保険料を納めた場合は月数にすると四八〇月になりますからそれに二〇〇円をかけると(200円×480=96000円)すなわち九万六千円になります。これが先ほど計算した基本年金額六十二万四千円に加算されますので合計で七十二万円になり、一か月六万円です。夫婦で一か月十二万円が毎月支給される事になります。これは、あくまで二十才から国民年金に加入した場合ですので、昭和三十六年四月からです。現在は三十五才以前の方が六十五才にならないとこの金額には達しないことになりませんが、夫婦で一か月十万円近くの年金ならもっと年輩の方々でも受給できるはずですから計算してみてください。

# 国民年金の受給

## どっちがとくか

国民年金は、六十才まで保険料を納めて、六十五才から受給するのがたてまえになっています。例外として六十才から六十五才までの間に早く受給する繰上げ受給と六十六才以降になって受給する繰下げ受給があります。

繰上げ受給の場合には、別表1の率にしたがって、早く受ければ早く受けるほど引かれる率が多くなり、一ヶ月に受ける金額が少くなります。六十五才以前に受けた人と六十五才になって受けた人の、受給金額の合計は、大体七十一才頃で同じ金額になるようです。

六十五才以前に受給を開始した人の年金額は、その時決定した金額は六十五才になっても七十才になっても増額されず、一生涯そのまま少ない金額で受給することになります。例えば六十才で受給を開始すると四十二%引かれますので

六十五才になって受ける満額の年金の約半分になります。この約半分の金額が一生継続することになります。

六十五才まで待って満額を受けると一ヶ月三万円だとすれば、六十才から受けた人は一万七千四百円ですから、七十一才を過ぎると六十五才まで待った人と早く受給した人とは、ぐんぐん差がついてゆきます。

七十一才前に死亡すれば、早く受けた方が得ですし、七十一才以後も長生きするとすれば六十五才まで待って受給した方が得ということになります。

誰が何才まで生きると教えてくれる神様でも居てくれるといいんですが……別表2のように、受給開始を遅らせれば遅らせるほど増額になる繰下げの制度もあります。



別表1

繰上げ受給の割引率

年 令	割引率
60才~61才未満	0.42
61才~62才 "	0.35
62才~63才 "	0.28
63才~64才 "	0.20
64才~65才 "	0.11

六十五才以前に受給する場合は、その人の年金額から割引率だけ引いて支給されます。

別表2

繰下げ受給の割増率

年 令	割増率
66才~67才未満	0.12
67才~68才 "	0.26
68才~69才 "	0.43
69才~70才 "	0.64
70才以上	0.88

六十六才以降に受給を開始すると年令に応じて割増率だけ増額して支給されます。七十才まで待てば約倍額の年金が受けられることになります。

高血圧予防

食事から塩分をへらそう その二

先月は、高血圧と塩の関係について書きましたが、塩のとり過ぎが高血圧を招きやすいということがわかっていただけだと思います。今月は、食事から塩分をへらすためにどうしたらよいか、具体的な方法をいくつか考えてみたいと思います。

今、循環器検診や出稼者検診の結果についての冬期指導会で各部落を回っています。皆さんとの話し合いで気づいた事は、塩のとりすぎは、高血圧を招きやすい、自分達は塩をとりすぎていないという事は、ほとんどの人が部落の衛生教育、その他のマスコミで知っているという事です。そして、「実際自分の家では、どのよう塩をへらしているか、よい方法があったら教えて下さい」と聞いてみるとほとんど意見が聞けません。食事は人間の楽しみの中の一つです。そして、食事の嗜好もその家や、その人によって決まっています。特に日本の東北地方は、世界でも塩分のとり方が多いところですので、へらすとなると更に大変になります。しかし、

し、大変だ、むずかしいと言ってそのまゝにしているは、今までと変らないわけです。

④ 四つの約束

冬期指導会で各部落を回りながら実行できるものから少しづつやっつけていこうという事で、塩をへらす四つの約束をしています。皆さんもぜひ実行して下さい。

① しょう油びんに日付を

入れましょう

冬期指導会の時、一日の献立を聞いて塩の量を概算しますと、少なくみつもっても多い所で三十グラム、少ない所でも二十グラム近くの塩をとっています。味噌、塩を今まで通りとったとして、しょう油の量は、一月大人一人二・五合とされています。ですから四人家族で月一升で十分なわけです。しょう油の量を月に一人がどのくらいとっているかぜひ調べていただきたいと思えます。それには、新しい一升びんをおろしたら日付を入れてほしいと思えます。

② 漬け物やカレーライスには

しょう油をかけないように十分な塩味でしょう油を

かけても食べられるわけですが、習慣になっています。

③ お茶のみに

は、漬物や塩せんべいは出さないように冬になると、お茶のみの機会が多くなるようです。必ず漬け物が出て塩分のとりすぎになります。しまいます。野沢菜は卵

表1 食品に含まれる食塩量

食品名	目安量	重量(g)	食塩量(g)
食塩	小さじ1杯	5	5
しょうゆ	小さじ1杯弱	5	1
みそ	小さじ1杯強	20	2
塩さけ	一切	55	3~4.5
魚肉ソーセージ		70	1.8
さつまあげ	小3枚	100	2.5
ちくわ	1本	120	3
ウインナーソーセージ	4本	50	1
のざわな		50	2
たくあん漬	半月型1cm3切	30	3
白菜漬	小皿1杯	50	2.5
うめぼし	1個	10	2.5
食パン	小2枚	60	1
即席ラーメン	1個	85	5.3
中華そば	1/2玉	100	1
バター・マーガリン	小さじ2	10	0.2
マヨネーズ	"	10	0.2
塩せんべい	4~5	50	1
バターピーナツ	50粒	50	1

大の大きさに塩が二グラム

塩せんべいは大一枚に塩が〇・三グラムも含まれています。

④ 食卓には漬け物は

一品だけにしましょう

野沢菜、たくあん漬、白菜漬、奈良漬、その他いろいろ出てしまふと、どれにも箸をつけたくなり又、量がふえてしまいます。ですから食卓に出すのは、一品にするか又、いろいろな種類のものを合わせて一皿にもるとよいと思います。

表1は、いろいろな食品に含まれる食塩の量です。参考にして下さい、健康な大人で一人一日の食塩の量は十五グラムです。

戸籍の窓口から

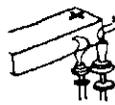
一月受付分(受付順)

おたんじょうおめでどう



- 小堺正志 父輝夫 母富美子 長男 儀明 弥えん
- 小堺正己 父正利 母ヒロ子 二男 儀明 浅えん
- 柳あけみ 父照雄 母優長女 宇島吉兵エ
- 池田妙子 父博子 母勝長女 田野倉貞五郎
- 五十嵐裕子 父幸吉 母恵美子 二女 会沢 田中
- 小堺智美 父義春 母さみえ 長女 儀明 平兵エ
- 宮沢直人 父儀一 母りよ子 長男 下山 となり
- 広瀬資之 父寛二 母由美子 長男 松代 鉄道公団

おくやみ(死亡)



- 富沢清次 七八才 小荒戸 くまんど
- 小野島啓太郎 七二才 会沢 角兵エ
- 菅井留蔵 九〇才 名平 ござうぎ
- 池田カ子 七四才 仙納 はじ
- 若月満枝 六〇才 千年 川ばた
- 藤巻喜八郎 七〇才 松代 藤屋 金物店
- 若山米作 六二才 室野 出合
- 小堺コノイ 五二才 室野 とうのじょう
- 横尾利政 六九才 峠 上の干場

人口のうごき 2月1日現在

世帯数	2,040 (-1)
人口男	3,984 (-10)
女	4,040 (+1)
計	8,024 (-9)
出生	8
死亡	9
転入	5
転出	13
増減計	13減 22

# 昭和五十一年の動態

人口一七三二人・三〇世帯の減少

減少 ややゆるやかに

昭和四十九年から毎年広報二月発行で町の人口動態をお知らせしていますが、今年もまた一月一日現在の住民基本台帳による人口・世帯の数が、係から発表されましたのでおしらせいたします。

それによりますと、人口は八、〇三三人・世帯は二、〇四一世帯です。これを前年の同期と比較いたしますと、人口で一七三人世帯で三〇世帯の減少ですが、別掲の人口・世帯数の推移の減少数と比較してみますと、ややゆるやか

になったといえましょう。

昭和51年間の世帯数の減少についてみますと、

◎鉄道・道路など建設工事で来町していた非本籍人の転出減

九世帯

◎もとのからの住民（本籍人）で離

町（転出）した世帯

二十一世帯

となっております。

人口も、出生と死亡との差に多少の減少理由はありますが、そのほとんどは転出によるものです。

人口・世帯数の推移 △印は減少

(34年には42年合併の仙田桐山の数を加えてあります)

年	1月1日現在		前年比		備考
	人口	世帯数	人口	世帯数	
34	13853	2,502			1ヶ年平均 人口△377 世帯△24
49	8,581	2,101	△5,272	△401	
50	8,406	2,114	△175	13	
51	8,206	2,071	△200	△43	
52	8,033	2,041	△173	△30	

松代町部落別住民基本台帳人口・世帯数										
前年との比較 △印は減少										
区分	52・1・1現在			前年との比較			世帯数	人口		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計
松代	848	875	1723	458	△10	2	△8	△4		
小荒戸	76	80	156	37	3	3	6			
太平	66	81	147	35	2		2	2		
菅刈	87	89	176	41	△5	△9	△14	△3		
田沢	68	71	139	32	△1		△1			
小屋丸	25	21	46	16	△5	△1	△6	△1		
池之畑	47	47	94	20	△3	△1	△4	△1		
下山	74	78	152	33	2	2	4	2		
千年	150	184	334	81	△8	△12	△20	△2		
池尻	47	46	93	20	△1	△1	△2			
会沢	80	88	168	44	△8	△5	△13	△4		
清水	97	113	210	51	△2	△9	△11	△2		
桐山	67	67	134	33	△2	△2	△4	△2		
蓬平	168	166	334	70	6	△3	3			
東山	15	20	35	7						
海老	71	60	131	35	△3	△4	△7	△2		
犬伏	164	162	326	82	△8	△10	△18	△4		
孟地	56	45	101	28				1		
片桐山	23	16	39	9	2		2			
滝沢	39	29	68	19	△2	1	△1			
中子	15	13	28	8		1	1			
寺島	57	57	114	29	△1	△1	△2			
田野倉	111	113	224	54	△1	2	1	△1		
仙納	67	66	133	30	4	△7	△3			
田代	61	60	121	38	△2	△2	△4			
あさみ平	83	75	158	39	2	1	3	△1		
小貫	28	25	53	13		1	1			
諏訪峠	18	21	39	14	△1	△1				
寺田	92	89	181	49	△3	△5	△8	△1		
名平	35	35	70	18		1	1			
蒲生	223	205	428	115	△9		△9	△3		
儀明	189	169	358	88	7	△4	3	3		
福島	76	75	151	41	△4	△5	△9			
奈良立	33	35	68	18	△3	△1	△4			
室野	358	391	749	200	△8	△12	△20			
竹所	58	58	116	30	△1	△4	△5	△2		
濁	33	24	57	16		1	1	△1		
峠	117	112	229	53	△8	△6	△14	△2		
木和田原	72	78	150	37	△5	△8	△13	△2		
計	3,994	4,039	8,033	2,041	△75	△98	△173	△30		

## 出稼の



みなさんへ

読み終わりましたら  
出稼先のご家族に  
お送り下さい。

## でかせぎ文集「よもぎ」から

相撲のおもしろさで  
大雪を

ふっとばしました

後何日かすると皆さんが帰って来ると楽しみにしていた正月も過ぎ去りました。皆さんお変わりなくお元気でしょうか、こちらは昨日は真冬の猛吹雪でしたが、今日は朝から青空で気持ちの良い天気恵まれ、子どもたちは村一パイに響きわたる元気のいい声でスキーのりです。

今年初めて仲間に入れてもらった逢平相撲大会は九日に始まり、十五日間にわたり行なわれ、「昨日何点だった。」と「今日は何点だろうかね。」と

## 昭和51年出生受付・死亡受理件数

月	死亡	出生
1	8	8
2	12	7
3	7	8
4	7	8
5	9	11
6	10	6
7	6	6
8	3	7
9	7	9
10	10	5
11	8	5
12	10	4
計	97	84

楽しみの相撲も二十三日の千秋楽で無事に終え喜んでいきます。まだ寒さも一段と厳しい折、お体には充分気をつけてお働きください。(ある主婦の作文)

ぼくに任せて  
安心してください

今、家では何回か屋根の雪ほり  
をしました。午前十時ごろからす  
っぽんをはいて、スノッパをもっ  
て屋根にあがります。  
そして、十一時ごろになると、  
おぼあさんが、  
「ご飯にしねけ。」と言います。  
「ああい。」と元氣よく答えます。  
そして午後からもほります。  
雪ほりのときはいつもこんなふ  
うにやって、家を守っていますか  
ら安心してください。  
お父さんも元氣でね。

(六年生児童作品)

## 今年のプランを夢みて ☆☆☆☆☆

お便りを  
お待ちしております

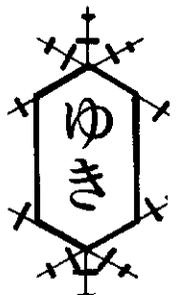
皆様お元氣ですか。  
一月二十二日学校用務  
の帰り道、思わず  
「まあーあの鳥って。」  
声のでた。それは横手の  
柿の木にまだ秋の名残を  
捨てきれずに、淡い赤味  
がしたたれているそんな  
柿をついばむ小鳥の姿。  
首を上になにに左右に、ま  
た眺めては食べている。  
……むく鳥らしい。  
近寄って見れば、すず  
めもいた。うぐいす色し  
た小さな鳥も見える。三  
十羽くらいもいたであろうか。冷  
たくて甘くておいしいだろうな  
と思いつつ、あゝ春が近いんだ  
なあ、この冬は雪掘りも無理のな  
い降り方でよかったが、今年の作  
はどうなのかなあ？

昨年十二月町議会の傍聴に行っ  
てみました。その時のお話で、今  
年の冷害につき今後もうすこし土  
づくりに力を入れる必要があると、  
話しておられました。  
皆様、野や山が田んぼが、もし  
て私達がみんな今年プランを  
夢見ながら、お待ちしております。  
では、お元氣にお過ごしくださ  
いませ。(ある主婦の作品)

## 蓬平初場所大相撲番付

西		東
山の越(忠べえ) 89	横綱	米山(ふもとや) 91
初光(平十郎) 86	大関	ガッチャマン(五郎作) 87
小泉(五ぜん) 84	関脇	春風(しんや) 86
前田山(前田) 84	小結	岩まむし(天京) 84
若桜(横道) 84	前頭	朝日山(増美や) 84
	(中略)	
草生水山(田中) 72	十両	八晃山(八郎えん) 72
尾神岳(上野先生) 71	"	大松山(松べい) 71
芝峠(若井") 70	"	徳七山(徳七) 71
	"	日本海(小林先生) 68

雪さん雪さんどうしてつめたい  
の。  
だって雨からできたからさ。  
じゃあこんどはぼくがいうよ。  
うん。



とわたし

人げんってどうして足があるの。  
それは歩きためだからさ。  
じゃあどうしてぼくは足がない  
の。  
それは歩かなくていいからよ。

そうか。  
雪さん雪さんだれがふらせるの。  
それはね、天のかみさまがふら  
せるんだよ。  
じゃあ雪さん、天にいくときに  
なったら、  
雪がふらな  
いようにた  
のんでおい

てね。  
うん。  
春になって雪も天にのぼって  
きました。  
(二年生児童作品)

## 今年も大雪になりました。

一月末から約十日間寒波と大雪がつづき、二月七日現  
在積雪は峠四〇五・清水三七〇・松代三四五cmになり  
ました。



1月31日30cm、2月1日35cm、2月2日74cmと、  
また大雪が降り引続いて大雪注意報発令中です。  
民家で6回〜7回 鉄筋コンクリートの庁舎も2回、  
屋根の雪掘りをいたしました。しかしもう2月上旬  
春も間近です。



# カメラスケッチ



## —大日本松代相撲初場所終る—

十四部屋・五二七人の力士を擁して、恒例の大日本松代相撲春場所は、一月九日から十五日間にわたりに行なわれました。

エーシヨンの一つです。今年の東横綱は農協部屋の百恵関（小荒戸かみや・富沢佐一郎さん）西は妙高部屋松代姫関（松代みうらや・植木好美さん）女性横綱の誕生でした。また、どんじりは東西共に鉄建部屋（鉄道公団）でした。

二十三日千秋楽は松代小学校の体育館で行なわれ、めでたくチョンになりました。



↑ 東横綱百恵山関……農協部屋  
富沢佐一郎さんの土俵入り

西横綱松代姫関……妙高部屋（大正医院）  
植木好美さん女性力士の土俵入り



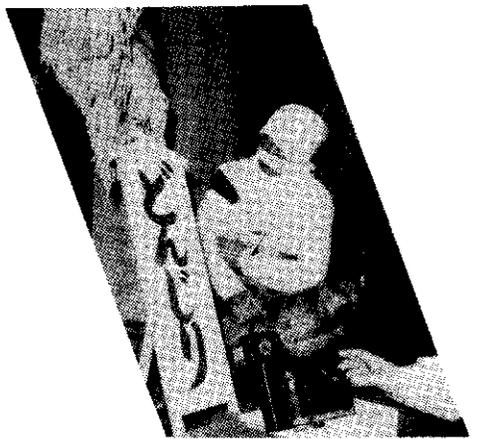
↑ 大和錦関（中学校部屋）  
鈴木重広さんの弓取式



↑ 各部屋力士入場  
いろいろとアイデアをこらして  
巳年にちなんで大蛇も登場



いたわしや どんじり力士 →  
東西とも鉄建部屋でした。写真は  
どちらの人かな？  
東石嵐関 — 石村隆司さん  
西玉縄関 — 柴田豪志さん



# ひとり暮らしの老人 心身障害者などの皆さんに

電報電話局からのお知らせ

福祉の増進に寄与することとし、今回「ひとり暮らしの老人・心身障害者等」の皆さんで、加入電話の種類を変更する場合において支払っていただく設備料について、分割払い、電信電話債券の引受免除ができるようになりました。この対象者は、次のとおりです。  
 ・心身障害者または、これらの後見人もしくは親権者。  
 ・身体障害者または、これらの後見人もしくは親権者。  
 ・公害病認定患者または、これらの後見人もしくは親権者。  
 ・六五才以上のひとり暮らしの者。  
 ・六五才以上で心身障害者、寝た

きりの配偶者または未成年者と生計を共にする者。  
 ・配偶者のない女子であって児童(二〇才未満の者)を扶養している者。  
 また、設備料の分割払いの期間等は、次のとおりです。  
 ・一年以内の期間において二回から一二回以内とします。  
 ・分割払いの金額は、均等額とします。  
 なお対象者の認定のための各種証明書が必要となりますが、詳しいことは、最寄りの電報電話局窓口にお尋ねください。

## 文芸



### しぶみ俳句会

他石先生選

1月18日・於 へ平旅館

門広く雪除けて年あらたまる  
 水は冬人のそしりを聞き流す  
 ならわしと冬至の夕餉とろろ汁  
 風邪声の出初くずれに行き違う  
 夕茜を背にして屋根の冬木立  
 陽のさして全山霧水輝ける  
 赤蕪の紅鮮やかに漬ける  
 訪れし女礼者の華やぎぬ  
 初便りにも縁談のことにふれ  
 凶作の哀しき年に素十逝く  
 賀詞をのぶ人みな雪のことにふれ  
 山茶花の白くこぼれて青畳  
 どっぴりとつかれば初湯こぼれけり

日に六度食積出すもめでたけれ  
 静 風  
 ドカ雪の鶏足山の初明り  
 二メートル越す雪の中年迎う  
 立 石  
 風邪引くなど言う人声も風邪の声  
 紅 茶  
 初晴は今年も五日すぎてより  
 貞 水  
 大川の流れも見えず寒の入り  
 炳 史  
 雪やんで月の光りのある夜かな  
 紅 茶

雑詠  
 木に水に風たちやすく冬近し  
 敵しさや一票の重み師走雷  
 大雪や橋とわからず橋渡る  
 猛吹雪道ゆく人の息荒し  
 雪おろす男勝りの女かな  
 日の丸をかかげ元朝の日を拝す  
 日の丸に風しずかなりお元日  
 元日や家のじまんの梅咲かす  
 まゆ玉の良く飾りたる子の気元  
 大寒や音かすかなり不動滝  
 大寒の水で新居のふきそうじ

### 「生花の会」同好会員の募集

花をいける楽しさ。生花のかざられた家庭は美しくなごやかで気持を豊かにしてくれます。  
 みんなで集まり生花の勉強をとおして仲間づくりをいたしましょう。  
 「生花の会」の運営は希望者で話し合いして決定いたしますが、おおよそ次のように予定しています。  
 ・仲間になってみようかな  
 ・と思う方は二月中に次へ申込みください。  
 松代 市川ハナエ  
 電話(7) 2122  
 町総合センター  
 電話(7) 2301  
 「生花の会」運営(案)  
 ①先生 本山祖道先生  
 ②教習日時 毎月第二・四木曜日のよる  
 ③会場 主に町総合センター  
 ④その他 △会運営の係 △運営会費 △教材に要する経費などはみんなよく話し合って決定します。  
 ◎教材費は周辺の山野にあるものを使用する場合がありますし、教習は写真や絵による鑑賞も予定しますので毎月二回分必要とはかぎりません。  
 ◎発足は三月上旬の予定です。  
 ◎遠方の方は夏期のみでも仲間入りしませんか。お待ちしております。

### 樹

蒲生 清水 朴子  
 一つだけとりのこされた柿の実  
 高いところで陽に映え  
 霜枯れの庭に  
 なお咲きほこる菊の花  
 夜明け  
 そのうえに雪が積る  
 枝葉をふるいおとした  
 二本の樹は  
 お互いの姿をうつしあう  
 陽の光と影に  
 霧氷を飾る樹には  
 やがてくる春を待つ  
 ひとつの喜びがかくされている